

2025

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾学科
4 年次（2022 年度生）

【整理番号】

■専門科目■

- 【1】 モードデザインⅣ
- 【2】 卒業制作Ⅰ（モード）
- 【3】 卒業制作Ⅱ（モード）
- 【4】 卒業制作Ⅰ（インダストリアル）
- 【5】 卒業制作Ⅱ（インダストリアル）
- 【6】 テキスタイルデザインⅤ
- 【7】 卒業制作Ⅰ（テキスタイル）
- 【8】 卒業制作Ⅱ（テキスタイル）
- 【9】 卒業制作Ⅰ（プロダクト）
- 【10】 卒業制作Ⅱ（プロダクト）
- 【11】 グローバル・マネジメント特論Ⅱ
- 【12】 店舗開発マネジメント論
- 【13】 ファッションMD評価システム
- 【14】 卒業論文Ⅰ（マネジメント）
- 【15】 卒業論文Ⅱ（マネジメント）
- 【16】 顧客関係論
- 【17】 ファッションテック論
- 【18】 卒業論文Ⅰ（イノベーション）
- 【19】 卒業論文Ⅱ（イノベーション）

【20】 ファッション3DモデリングⅠ

【21】 ファッション3DモデリングⅡ

■教養科目■

【22】 言語と服飾文化

■教職■

【23】 教育実習（事前事後指導を含む）

【24】 教職実践演習（中等）

■学芸員■

【25】 博物館実習

IV.履修科目単位内訳表

(大学2022年度生)

		修得単位数					
		モードテクノロジー系				ファッションビジネス系	
共通専門基礎必修科目	1年次	17					
	2年次	7					
系別専門基礎必修科目	1年次	4				4	
	2年次	3				0	
コース別専門必修科目		モード 37	インダストリアル 37	テキスタイル 38	プロダクト 35	マネジメント 39	イノベーション 37
	2年次	14	16	12	12	13	
	3年次	14	14	17	14	16	16
	4年次	9	7	9	9	10	8
	専門選択科目	22	22	21	24	23	25
専門科目合計		90単位					
教養科目	初年次 キャリア	必修	10				
	一般 体育 国際関係	選択	16				
	外国語	選択必修	8				
教養科目合計		34単位					
総合計		124単位					

■【進級条件】

各学年開講必修科目は、原則全て修得すること。

1年次の共通必修(服飾造形基礎Ⅰ・Ⅱ、流通商業入門、ファッションビジネス概論、ファッション・フィールド・リサーチ、衣服材料学、ファッション画Ⅰ・Ⅱ、ドローイングⅠ)17単位とその他の科目で36単位以上修得しない場合には、2年次のコースに原則進めない。

■【卒業制作・論文履修条件】

1・2年次の必修科目を修得していない場合には、原則コースの専門応用・【卒業制作・論文】を履修できない。

モードデザイン

白木 ゆみ香

服飾学科 モードクリエーションコース 4年 前期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

モードデザインでは、モードデザインで学んだデザイン力を元に、卒業時まで学んでおいて欲しいスキルを、総合的に学習します。デッサン力やデザイン力の向上を目指し、各種コンテストにも積極的に参加していきます。この授業では、モードクリエーションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を鍛え、就職活動でも使えるポートフォリオ製作なども併せて学修します。

■到達目標（学修成果）

自分の研究テーマやコンセプトに沿ったデザインを、イメージ通りに表現出来る力を身に付ける。企画書を作成できる技術を身に付ける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、モードクリエーションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

- ・作品課題の提出は、教室またはデザインCG研究室（研究棟1F）まで、指定された日時までに提出のこと。
- ・PC関係はデスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。
- ・作品課題の返却は、採点後、教室にて返却。・試験はなし。・プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

必要に応じてプリント配布。

教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

■参考文献

MODE Et MODE、各種専門誌。

■オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30～17:00【後期】木 15:30～17:00

【研究室】デザインCG研究室（研究棟1F）

■備考

進捗により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白木	YKKファスニングアワードに向けて デザイン発想（アイデアスケッチ）	予習：シラバスを読む 予習：図書館・インターネットにて資料収集。	60分
2回 白木	デザイン発想 （コンセプトシート＋デザイン画＋ハンガーイラスト）	復習：作品課題を完成させる。	60分
3回 白木	デザイン発想 （コンセプトシート＋デザイン画＋ハンガーイラスト）	復習：作品課題を完成させる。	60分
4回 白木	全国ファッションデザインコンテスト デザイン発想（アイデアスケッチ）	予習：図書館・インターネットにて資料収集。	60分
5回 白木	デザイン発想 （コンセプトシート＋デザイン画＋ハンガーイラスト）	復習：作品課題を完成させる。	60分
6回 白木	デザイン発想 （コンセプトシート＋デザイン画＋ハンガーイラスト）	復習：作品課題を完成させる。	60分
7回 白木	デザイン発想 の作品のプレゼン発表	予習：プレゼン準備。	60分
8回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 卒業制作のコンセプトシート作成	予習：イメージ画像の準備	60分
9回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 卒業制作のデザイン画スキャン・着色	予習：デザイン画の準備	60分
10回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 卒業制作のデザイン画着色・レイアウト	予習：素材集め	60分
11回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 カラー展開・素材やパターン配置	復習：資料の整理	60分
12回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 その他の作品まとめ。	予習：資料の整理	60分
13回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 プレゼン資料作成	復習：作品課題を完成させる。	60分
14回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 プレゼン資料作成	復習：プレゼン準備。	60分
15回 白木	Power Point 卒業制作を含む各自の作品集 プレゼン発表	予習：プレゼン準備。	80分

卒業制作（モード）

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエイションコース

4年

前期

必修（4単位 実験実習）

■授業の方針・概要

各自のイメージを服飾造形作品として表現するために、研究テーマを定め、調査や試作・考察を行い、テーマの妥当性を探ります。授業は実習を主としたアクティブ・ラーニングで行います。作品を制作する上で重要なデザイン・パターン・素材・テクニックなどの関連性を十分に考え、各自の研究テーマに基づいた作品を教員とのディスカッションにより多方面から検討します。完成した作品は制作プロセスをまとめた資料と共にプレゼンテーションを行い、最終的に卒業制作研究要項にまとめます。また、知的財産権、要項における引用ルールなど研究倫理について改めて理解を深めます。

■到達目標（学修成果）

パターンや縫製の知識と技術を学修することで、各自の「イメージ」を的確に「服飾造形作品」としてつくり上げる創作力を身につけることが可能となる。また、作品制作プロセスを通して、課題解決の考え方を修得することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエイションコース専門科目（服飾関係）必修科目として卒業認定に関わる要件科目である。また、ディプロマポリシーの専門教育課程コース別教育目的と目標の達成に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品、課題、プレゼンテーションに対しては、個別のディスカッションや講評を行いフィードバックする。事前調査やレポート、プレゼン資料などの提出は、学内システムのキャンパスマジック（学生ポータルサイト）を使用する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じ資料を適宜配布する。

■参考文献

ドレメ原型、PATTERN MAKING、SEWING、基礎テキスト、杉野服飾大学Online text服飾造形編 その他

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：研究棟3F 6032A（中村） 6032B（設水） 6033（安部）

■備考

日程および予定は、授業進度などにより、変更することもある。

準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保して欲しい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	卒業制作 スケジュールなど説明 研究倫理について 各自の研究テーマ検討 ディスカッション・調査	予習：シラバスを読む 研究倫理について調べる 卒業制作に関する資料を準備する	90分
2回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 ディスカッション・調査・検討	予習：卒業制作の研究テーマに関する検討 復習：ディスカッションの整理	90分
3回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 各自の研究テーマに基づき研究を進める	予習：研究テーマに関する調査と検討 サンプル制作 復習：ディスカッションの整理	90分
4回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 各自の研究テーマに基づき研究を進める	予習：研究テーマに関する検討・サンプル制作 復習：ディスカッションの整理	90分
5回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 研究テーマについてディスカッション	研究状況を確認し、ディスカッションの準備をする ディスカッションの整理	90分
6回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 研究テーマについてまとめる	予習：研究状況を確認し、研究結果をまとめる 復習：ディスカッションの整理	90分
7回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 デザイン検討→パターン作成	予習：研究状況をまとめ、デザインを考案する 復習：パターン作成	90分
8回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 パターン作成・点検→トワル作成	予習：パターンを完成させる 復習：トワル作成準備	90分
9回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 トワル作成→トワル補正 個別ディスカッション	予習：トワルを作成し、補正の準備を進める 復習：ディスカッションの整理	90分
10回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 トワル補正・サンプル作成 個別ディスカッション	予習：トワルを作成し、補正の準備を進める 復習：ディスカッションの整理	90分
11回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作準備→実物補正・個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
12回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 実物補正→制作	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
13回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
14回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
15回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分

卒業制作（モード）

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエイションコース

4年

前期

必修（4単位 実験実習）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
17回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
18回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
19回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
20回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
21回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
22回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
23回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
24回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 最終点検→作品完成	最終点検を受け、作品を完成させる	90分
25回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 プレゼンテーション・講評	予習：プレゼンテーションの準備	90分
26回 各自	卒業制作 前期制作作品（作品1）のまとめ	予習：前期の課題を振り返り、まとめる	60分
27回 各自	卒業制作 前期制作作品（作品1）のまとめ 後期制作作品（作品2）についての検討	復習：後期制作作品に向け課題を検討し準備する	60分
28回 各自	課題1 グループワーク作品制作実習	予習：テーマに関する調査を行う	60分
29回 各自	課題1 グループワーク作品制作実習	復習：グループワーク作品を進める	60分
30回 各自	課題1 グループワーク作品制作実習	復習：グループワーク作品を進める 夏季休業中の課題を検討する	60分

卒業制作（モード）

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエイションコース

4年

後期

必修（4単位 実験実習）

■授業の方針・概要

前期に引き続き、各自の研究テーマに基づき、個々のイメージを服飾造形作品として表現するための的確な方法を研究し、作品制作を行います。授業はアクティブ・ラーニング（実習・ディスカッション）で展開します。完成した作品について、1/5大製図を含めた全てのプロセスを卒業制作研究要項にまとめます。また、ファッションショー形式の発表会の企画・運営を行い、服飾に関する幅広い知識を得ます。さらに知的財産権、要項における引用ルールなど、研究倫理について改めて理解を深めます。

■到達目標（学修成果）

パターンや縫製の知識と技術を学修することで、各自の「イメージ」を的確に「服飾造形作品」としてつくり上げる創作力を身につけることが可能となる。また、作品制作プロセスを通して、課題解決の考え方を修得することができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエイションコース専門科目（服飾関係）必修科目として卒業認定に関わる要件科目である。また、ディプロマポリシーの専門教育課程コース別教育目的と目標の達成に資する科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品、課題、プレゼンテーションに対しては、個別のディスカッションや講評を行いフィードバックする。
事前調査やレポート、プレゼン資料などの提出は、学内システムのキャンパスマジック（学生ポータルサイト）を使用する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じ資料を適宜配布する。

■参考文献

ドレメ原型、 PATTERN MAKING 、 SEWING 、 基礎テキスト、 杉野服飾大学Online text服飾造形編

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。

研究室：研究棟3F 6032A（中村） 6032B（設水） 6033（安部）

■備考

日程および予定は、授業進度などにより、変更することもある。

準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保して欲しい。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 安部	課題1 グループワーク作品制作	予習：シラバスを読み後期のスケジュールを確認	60分
2回 安部	課題1 グループワーク作品制作 作品完成 大学祭での展示プランを検討する	グループワークを完成させる。大学祭で展示発表を行い、外部の評価を得る	60分
3回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 デザイン確認→パターン作成	予習：研究状況を確認し、デザインを考案 復習：パターンを作成する	90分
4回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 パターン作成・点検→トワル作成	予習：パターンを完成させ点検の準備をする 復習：トワル作成の準備をする	90分
5回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 トワル作成→トワル補正 個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
6回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 トワル補正・サンプル作成 個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
7回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作準備→実物補正・個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
8回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 実物補正→制作	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
9回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
10回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
11回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
12回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
13回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
14回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
15回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分

卒業制作（モード）

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエイションコース

4年

後期

必修（4単位 実験実習）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
17回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
18回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
19回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作→途中経過確認（個別ディスカッション）	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
20回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 最終点検→作品完成	最終点検を受け、作品を完成させる	90分
21回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 プレゼンテーション・講評 発表会の構成を検討する	予習：プレゼンテーションの準備 卒業制作発表会の構成を検討する	90分
22回 各自	卒業制作研究要項執筆 全作品の1/5大製図をまとめる→点検	1/5大製図をまとめる準備をする	60分
23回 各自	卒業制作研究要項執筆 全作品の1/5大製図をまとめる→点検→清書・完成	1/5大製図を清書し完成させる	60分
24回 各自	卒業制作研究要項執筆 プロセスをまとめ、執筆準備をする	資料を整理し、卒業制作研究要項の執筆を進める	60分
25回 各自	卒業制作研究要項執筆 要項執筆→点検→ディスカッション→修正	資料を整理し、卒業制作研究要項の執筆を進める	60分
26回 各自	卒業制作研究要項執筆 要項執筆→点検→ディスカッション→修正	点検を受け、卒業制作研究要項をまとめる	60分
27回 各自	卒業制作研究要項執筆 要項執筆→点検→ディスカッション→修正	点検を受け、卒業制作研究要項をまとめる	60分
28回 各自	卒業制作研究要項を完成させ、提出する	卒業制作研究要項を完成させる	60分
29回 各自	卒業制作発表会準備	卒業制作発表会のプランを確認し確定する	60分
30回 各自	卒業制作発表会準備 まとめ・講評	卒業制作を振り返る	60分

卒業制作（インダストリアル）

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 インダストリアルパターンコース 4年 前期 必修（3単位 実験実習）

■授業の方針・概要

インダストリアルパターンコースの卒業制作に向けて、研究テーマを決めます。仮説（デザイン画、製図、ファーストパターン）を立案、検証（トワル作成・パターン修正・サンプル作成）を行い、結果としての作品制作とプレゼンテーションを行います。書籍や文献の資料収集、現在市場に出ている製品の調査をまとめ、研究に反映します。卒業制作 ・ 合わせて作品数は2作品とし、前期 は1作品制作します。

■到達目標（学修成果）

研究テーマからデザインの考案、パターン設計、縫製の技術を修得し、人体に対してのサイズ設定や素材との関係性を理解できるようになります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

インダストリアルパターンコースの卒業認定・学位授与に関連する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対しては講評を行い、フィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

必要に応じて資料配布を行う。

■参考文献

SEWING ～（杉野学園）、PATTERN MAKING ・（杉野学園）、基礎テキスト（杉野学園）

図書館資料等

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室（第3校舎2F）

■備考

日程及び内容は授業進度により変更することがあります。各自の課題進捗状況にあわせて準備学習時間を確保してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽・高	卒業制作の作品制作スケジュールについて、研究テーマの検討を行う。著作権や研究倫理について説明	予習：卒業制作に関するリサーチ、資料収集を行う	120分
2回 羽・高	企画 ＊パターン研究の論文検索について デザイン考案、参考文献収集	予習：デザインソースの資料まとめ、使用素材の検討 復習：論文検索	120分
3回 羽・高	企画 ＊パターン研究の論文検索について研究成果を提出 デザイン選定、サイズ設定、素材やパターンの資料収集	復習：決定デザインのハンガーイラストを描き、各アイテムの設計案をまとめる	90分
4回 羽・高	設計 ＊研究テーマについて相談 1 パターン作成（ファーストパターン）	復習：3Dフィッティングによるパターン検証 復習：研究テーマの再検討	90分
5回 羽・高	設計 ＊研究テーマについて相談 2 トワル作成・点検	復習：トワルを完成させる、トワルでの問題点の整理	90分
6回 羽・高	設計 パターン修正（セカンドパターン）	復習：3Dフィッティングによるパターン検証	90分
7回 羽・高	設計 修正後のサンプル作成	復習：サンプル完成。縫製手順の検討	120分
8回 羽・高	途中経過点検、作品についてのディスカッション、中間発表	予習：途中経過点検に向けて、検討事項を整理しておく	60分
9回 羽・高	設計 工業用パターン作成	復習：工業用パターンを完成させる。	120分
10回 羽・高	縫製	作品制作を進める	90分
11回 羽・高	縫製	作品制作を進める	90分
12回 羽・高	縫製	作品制作を進める	90分
13回 羽・高	縫製 作品 完成、点検	作品制作を進める	90分
14回 羽・高	まとめ プレゼンテーション	予習：プレゼンテーションの準備	90分
15回 羽・高	前期制作作品の講評 後期制作作品についての検討、ディスカッション	復習：後期作品制作に向けて夏期休業中の課題を検討する	60分

卒業制作（インダストリアル）

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 インダストリアルパターンコース 4年 後期 必修（4単位 実験実習）

■授業の方針・概要

前期卒業制作 に引き続き実物作品（2作品目）の制作を進めます。各自の研究テーマに基づき、パターン設計・縫製を行います。書籍や文献の資料収集、現在市場に出ている製品の調査をまとめ、研究に反映します。卒業制作発表会で口頭発表（プレゼンテーション）を行い、作品のパターン及び要項をまとめて提出することが必須です。

■到達目標（学修成果）

パターン設計、縫製の技術を修得し、人体に対してのサイズ設定や素材との関係性を理解します。作品のポイントとなる部分を整理し、視覚化・文章化を行い資料としてまとめ、プレゼンテーションができるようになります。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

インダストリアルパターンコースの卒業認定・学位授与に関連する科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題作品・プレゼンテーションに対しては講評を行い、フィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料配布を行う。

■参考文献

SEWING ～（杉野学園）、PATTERN MAKING ・（杉野学園）、基礎テキスト（杉野学園）

図書館資料等

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室（第3校舎2F）

■備考

日程及び内容は授業進度により変更することがあります。各自の課題進捗状況にあわせて準備学習時間を確保してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽・高	卒業制作の作品制作～発表までのスケジュールについて、進捗状況の確認・個別相談	予習：夏期課題の確認 復習：スケジュールの確認	120分
2回 羽・高	設計 パターン作成（ファーストパターン）	復習：3Dフィッティングによるパターン検証	90分
3回 羽・高	設計 トワール作成・点検、パターン修正（セカンドパターン）	復習：トワールを完成させる、トワールでの問題点の整理、修正	90分
4回 羽・高	設計 修正後のサンプル作成	復習：3Dフィッティングによるパターン検証、サンプル完成。	120分
5回 羽・高	途中経過点検、作品についてのディスカッション、中間発表 途中成果をプレゼンで発表しアクティブラーニングで改善	予習：途中経過点検に向けて、検討事項を整理しておく	90分
6回 羽・高	設計 工業用パターン作成	復習：工業用パターンを完成させる。	90分
7回 羽・高	縫製	作品制作を進める	120分
8回 羽・高	縫製	作品制作を進める	120分
9回 羽・高	縫製	作品制作を進める	120分
10回 羽・高	作品 完成、点検 プレゼンテーションの改善したものを発表し講評	予習：プレゼンテーションの準備	90分
11回 羽・高	作品撮影 ＊発表のための資料を提示し、改善の指導	予習：撮影の準備	120分
12回 羽・高	まとめ 卒業研究要項	デザイン、ハンガーイラストまとめ	90分
13回 羽・高	まとめ 卒業研究要項	製図、工業用パターンまとめ	90分
14回 羽・高	まとめ 卒業要綱 卒業研究要項	制作費用、写真まとめ	90分
15回 羽・高	作品 のプレゼンテーションを行い講評による発表の改善を行う。卒業制作発表会準備	予習：プレゼンテーションの準備	60分

テキスタイルデザイン

土岐 千春

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 前期 必修 (1単位 演習)

■授業の方針・概要

テキスタイル業界において自立した職業人として活躍できる人材になるよう、生地・知識のまとめと商品化・流通について業界の現状と今後の展望について解説する。講師の企業実務に基づき、実際のプランニングの実例を通して素材開発・デザインのポイントを修得する。

■到達目標（学修成果）

主要素材の設計方法が理解でき、目的にあったデザイン展開を自らのアイディアをもとに企画立案、提案、プレゼンテーションまで表現が出来るようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題レポート提出、筆記試験について返却時に講評する

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

適宜プリント配布

■参考文献

図書館内資料等

■オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室(3011) 前期：火曜日(9:00～12:10)

■備考

テキスタイルデザイン の単位を取得していること

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 土岐	テキスタイルデザイナーの役割と企画、生産の現状 SNS、ECと実店舗の関係性や商品化におけるポイント	テキスタイルプランニングの業務内容についてリサーチする	60分
2回 土岐	主要素材の特徴と生産背景、国内の主な産地と素材の特徴 欧米と日本の服飾の歴史と主な技法・表現について	国内産地の分布と特性についてまとめる	60分
3回 土岐	国内外のテキスタイル展示会の解説と業界の構成と流通、店頭と企画シーズン、トレンド予測について	トレンド予測の基礎として定点観測、市場調査のポイントをまとめる	60分
4回 土岐	著名なテキスタイルブランドにおけるテキスタイルデザインの位置づけとファッションとの関係	テキスタイルブランドについてリサーチする	60分
5回 土岐	素材の分析を通し原料の特徴、生産方法、生地の特徴と適した用途をまとめる 天然繊維(羊毛・綿・麻)合繊等	主要素材と特徴をまとめる	60分
6回 土岐	・スワッチシートの作成、素材分析、調査	素材分析の方法、調査の手順をまとめる	60分
7回 土岐	・設計書、委託を前提とした依頼書の作成、適した用途を想定した絵型作成	適した用途について画像などを集め具体的な表現が出来るようにする	60分
8回 土岐	・分析、調査した素材の発表と、用途の提案をプレゼンテーションする	主要素材の特徴と実用的な用途をまとめる	60分
9回 土岐	ロープレ【発注と生産】実際に生地の生産をする場合に設計書、依頼書に示す方法と相手への伝え方	伝えること、確認することをまとめる	60分
10回 土岐	プリント、ジャカード、レースなどの意匠と後加工による表現について	意匠素材の表現、生地の後加工についてリサーチする	60分
11回 土岐	SDGSの取組と現状、今後の展望について グループ研究 アップサイクル等SDGSのアイディア作成	SDGSの現状についてリサーチする	60分
12回 土岐	言葉の表現とデザインの関係、画像、動画を含むプレゼンテーションと表現の伝え方	研究発表のシナリオを作る	60分
13回 土岐	コンセプトマップの作成を通してテーマ設定やプレゼンテーションの方法、ビジュアル表現のポイントを解説	他者に伝えるために必要な項目をまとめ資料を準備する	60分
14回 土岐	・プレゼンテーション 課題提出	コンセプトの伝え方、ビジュアルの必要性についてまとめる	60分
15回 土岐	まとめ	学修したことを振り返りまとめる	60分

卒業制作（テキスタイル）

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 前期 必修（4単位 実験実習）

■授業の方針・概要

卒業制作のためのテーマを各自のイメージを基に決め、デザイン考案、制作プロセスや作品完成シミュレーションを行う。これまで学んだ知識・技法に加えリサーチをすることで適切な素材や技法を選択し、実物制作につなげ、完成までのプロセスを理解したうえで自立した制作を行う。作品は展示・プレゼンテーションを行う。作品点数は年間シリーズで2点とし、前期は1作品を制作する。

■到達目標（学修成果）

自らの卒業制作テーマにしたがい、素材・技法研究、制作プロセス、完成形をイメージし自らの手で完成させることができる。オリジナル性の高いテキスタイル作品を完成させるため、コンセプトから自身で行い、積極的な制作をすることができる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品制作プロセスごと、プレゼンテーションについて講評をする

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

適宜配布

■参考文献

適宜配布

■オフィスアワー・研究室

水曜日（15：00～17：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）

■備考

- ・テキスタイルデザインコース科目3年次までの単位を取得していること
- ・各自スケジュールを立て、授業外を含め授業外制作を積極的に行うこと

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田口	卒業制作作品のテーマ、コンセプト、技法、素材についてリサーチ結果の面談（ディスカッション）および検討	（予習）卒業制作テーマ設定のためのリサーチを行う	120分
2回 田口	卒業制作作品のテーマ、コンセプト、技法、素材についてリサーチ結果の面談（ディスカッション）および検討	（予習）卒業制作テーマ設定のためのリサーチを行う	120分
3回 田口	コンセプトの具体化 デザイン修正	（予習・復習）リサーチの見直しを行い、デザインを具体的に作る	120分
4回 田口	コンセプトの具体化 デザイン修正	（予習・復習）リサーチの見直しを行い、デザインを具体的に作る	120分
5回 田口	素材・技法の検討 調査・検討	（予習）表現のための技法研究（情報収集）	50分
6回 田口	素材・技法の検討 調査・検討	（予習）表現のための技法研究（情報収集）	50分
7回 田口	サンプル作成	（予習）表現のための素材研究（素材の収集）	50分
8回 田口	サンプル作成	（予習）表現のための素材研究（素材の収集）	50分
9回 田口	サンプル作成 記録・比較	（予習）作品設計書を確認しておく	60分
10回 田口	サンプル作成 記録・比較	（予習）作品設計書を確認しておく	60分
11回 田口	サンプル制作 再検討	（予習）サンプル作品設計書を確認しておく	45分
12回 田口	サンプル制作 再検討	（予習）サンプル作品設計書を確認しておく	45分
13回 田口	サンプル検討 ディスカッション	（復習）テーマ・コンセプトの再構築	30分
14回 田口	サンプル検討 ディスカッション	（復習）テーマ・コンセプトの再構築	30分
15回 田口	設計 材料調達	（復習）制作のためのスケジューリング工程の確認	45分

卒業制作（テキスタイル）

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 前期 必修（4単位 実験実習）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 田口	設計 材料調達	（復習）制作のためのスケジューリング工程の確認	45分
17回 田口	イメージ、サンプル作品、制作工程等について講評会、企画・設計の再検討	（復習）サンプルと作品の現段階を振り返り検討する	45分
18回 田口	イメージ、サンプル作品、制作工程等について講評会、企画・設計の再検討	（復習）サンプルと作品の現段階を振り返り検討する	45分
19回 田口	卒業制作作品 設計 制作準備	（復習）サンプルの記録から実際への確認、再計算	60分
20回 田口	卒業制作作品 設計 制作準備	（復習）サンプルの記録から実際への確認、再計算	60分
21回 田口	作品制作	（復習）技法における素材の扱いや道具について確認する	30分
22回 田口	作品制作	（復習）技法における素材の扱いや道具について確認する	30分
23回 田口	作品制作 仕上げ	（復習）完成作品について客観的に観察する	30分
24回 田口	作品制作 仕上げ	（復習）完成作品について客観的に観察する	30分
25回 田口	プレゼンテーション準備（展示方法等の話し合い）	（復習）ポートフォリオを作成し、前期作品の工程、完成作品の振り返りを行う	90分
26回 田口	プレゼンテーション準備（展示方法等の話し合い）	（復習）ポートフォリオを作成し、前期作品の工程、完成作品の振り返りを行う	90分
27回 田口	前期作品発表会にてプレゼンテーション	（復習・予習）画像・素材を確認し、制作プロセスや学修内容を整理する	100分
28回 田口	前期作品発表会にてプレゼンテーション	（復習・予習）画像・素材を確認し、制作プロセスや学修内容を整理する	100分
29回 田口	講評、後期に向けて	（復習・予習）作品、プレゼンを振り返り、次作品に活かすようまとめる	60分
30回 田口	講評、後期に向けて	（復習・予習）作品、プレゼンを振り返り、次作品に活かすようまとめる	60分

卒業制作（テキスタイル）

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 後期 必修（4単位 実験実習）

■授業の方針・概要

設定されたテーマに沿って2作品目の制作をする。イメージをテキスタイルとして表現するための的確な表現方法を探り、制作する。コンセプトの設定から完成までのプロセスを振り返り、ポートフォリオとしてまとめる。

■到達目標（学修成果）

作品制作のためのリサーチと自己分析、制作のプロセスの確認を行い、イメージをよりの確に表現したテキスタイルを作成する。テーマ設定から設計、素材選択、作品完成までの工程を他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

作品・ポートフォリオ返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

水曜日（15：00～17：00）テキスタイルデザイン研究室（3011）

■備考

- ・卒業制作（テキスタイル）の単位を取得していること
- ・卒業制作口頭発表及び展示発表（作品2点・ポートフォリオ）をする（2月）
- ・平常授業終了後の発表会準備期間について授業内インフォメーションをする

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 田口	卒業制作2作品目のテーマ、コンセプト、技法、素材についてリサーチ結果のディスカッションおよび検討	（予習）前期作品を振り返り、後期作品をテーマに沿って表現できるよう、事前に準備をする	80分
2回 田口	卒業制作2作品目のテーマ、コンセプト、技法、素材についてリサーチ結果のディスカッションおよび検討	（予習）前期作品を振り返り、後期作品をテーマに沿って表現できるよう、事前に準備をする	80分
3回 田口	デザイン考案	（予習）デザインや素材のリサーチ、研究をする	80分
4回 田口	デザイン考案	（予習）デザインや素材のリサーチ、研究をする	80分
5回 田口	デザイン・素材・技法研究	（復習）客観的視点を持ちリサーチする	40分
6回 田口	デザイン・素材・技法研究	（復習）客観的視点を持ちリサーチする	40分
7回 田口	サンプル制作	（予習）リサーチ、サンプル素材の収集	40分
8回 田口	サンプル制作	（予習）リサーチ、サンプル素材の収集	40分
9回 田口	サンプル検討 ディスカッション	（予習）制作ノートを確認	30分
10回 田口	サンプル検討 ディスカッション	（予習）制作ノートを確認	30分
11回 田口	設計	（復習）設計書・計画書に沿った制作ができているか確認する	30分
12回 田口	設計	（復習）設計書・計画書に沿った制作ができているか確認する	30分
13回 田口	作品制作	（復習）設計書に沿った制作ができているか確認する	100分
14回 田口	作品制作	（復習）設計書に沿った制作ができているか確認する	100分
15回 田口	作品制作	（復習）設計書に沿った制作ができているか確認する	100分

卒業制作（テキスタイル）

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 後期 必修（4単位 実験実習）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 田口	作品制作	（復習）設計書に沿った制作ができているか確認する	100分
17回 田口	作品制作	（復習）設計書に沿った制作ができているか確認する	120分
18回 田口	作品制作	（復習）設計書に沿った制作ができているか確認する	120分
19回 田口	ポートフォリオ作成	（復習）制作ノートの確認と伝達方法を整理する	100分
20回 田口	ポートフォリオ作成	（復習）制作ノートの確認と伝達方法を整理する	100分
21回 田口	作品撮影、画像処理 要旨集の作成（役割）	（復習）テーマから制作までの画像素材の収集	120分
22回 田口	作品撮影、画像処理 要旨集の作成（役割）	（復習）テーマから制作までの画像素材の収集	120分
23回 田口	C Gプレゼンテーション準備	（復習）テーマから制作までの画像素材の収集	120分
24回 田口	C Gプレゼンテーション準備	（復習）テーマから制作までの画像素材の収集	120分
25回 田口	C Gプレゼンテーション準備	（予習）作品制作に伴う事項の振り返りをし、まとめる。	120分
26回 田口	C Gプレゼンテーション準備	（予習）作品制作に伴う事項の振り返りをし、まとめる。	120分
27回 田口	作品仕上げとプレゼンテーション プレゼンテーショングループ練習	（予習）効果的なプレゼン方法と資料準備を行う	60分
28回 田口	作品仕上げとプレゼンテーション プレゼンテーショングループ練習	（予習）効果的なプレゼン方法と資料準備を行う	60分
29回 田口	作品仕上げとプレゼンテーション 展示方法グループ討議	（予習）効果的なプレゼン方法と資料作成を考え準備する	120分
30回 田口	作品仕上げとプレゼンテーション 展示方法グループ討議	（予習）効果的なプレゼン方法と資料作成を考え準備する	120分

卒業制作（プロダクト）

肉丸 美香子、野口 和美、大場 有希子、高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 4年 前期 必修（4単位 実験実習）

■授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコースの卒業制作に向け、各自のイメージを基にテーマを決定する。ファッションプロダクトデザイン・の授業内容を発展させ、スケジューリング、フローチャートの作成、プレゼンテーションを重ね、最終デザイン案を決定する。これらを通して企画力、デザイン表現力、伝達能力を徹底的に鍛える。作品制作と平行しポートフォリオの作成を行う。以上の内容をより効果的なものとするために、担当者として、日常的に、バッグ、帽子の製品開発・制作を行っている実務経験者による指導を行い学修していく。

■到達目標（学修成果）

作品制作のために徹底した資料収集とリサーチを行い、デザインの方向性を探りしっかりとコンセプトを構築できるような能力を身につける。リサーチから作品制作まで一貫した流れに基づく物作りが可能となる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業認定単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

『鞆・ハンドバッグ・小物』（社団法人日本皮革産業連合会）

■参考文献

・BAG DESIGN -A HANDBOOK FOR ACCESSORIES DESIGNERS (FASHIONARY)・工業用ミシンと縫き機の基本操作とメンテナンス (STUDIO TAC CREATIVE)・ファッション工芸講座 帽子基礎編（文化出版局）

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日13:00～14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

■備考

卒業制作の授業は月曜日・火曜日・水曜日の週3回行っている。このシラバスは火曜日の内容である。月曜日、帽子の授業8回（担当 大場）、残り7回（担当 高橋）/水曜日の授業（担当野口）は火曜日に準ずる。月曜日、水曜日のシラバスは最初の授業時に掲示する。東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス 卒業制作(個人) 個別面談	予習：シラバスを理解する	60分
2回 肉丸	第1回プレゼンテーション(コンセプト含む) 講評とフィードバック	予習：プレゼンテーションの準備	60分
3回 高橋	個別面談：コンセプトの見直し、デザイン修正を行う	復習：コンセプトの見直し、デザイン修正を行う	60分
4回 高橋	個別面談：コンセプトの見直し、デザイン修正を行う	復習：コンセプトの見直し、デザイン修正を行う	60分
5回 肉丸	第2回プレゼンテーション準備：モックアップ（不織布） 講評とフィードバック	予習：プレゼンテーションの準備	60分
6回 肉丸	個別面談：デザイン決定	予習：各自使用素材や提案方法を検討する	60分
7回 高橋	デザイン修正（モックアップで修正を行う）	復習：各自使用素材や提案方法を検討し、デザイン修正を行う	60分
8回 高橋	デザイン修正（モックアップを完成させる）	復習：各自使用素材や提案方法を検討し、デザイン修正を行う	60分
9回 肉丸	個別面談、進行状況チェック	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	60分
10回 肉丸	発注前最終チェック デザイン画、製図を完成させる	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	60分
11回 高橋	発注前最終チェック モックアップ、材料、サンプル、仕様書を完成させる	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う、プレゼンテーションの準備	60分
12回 高橋	発注前プレゼンテーション 講評とフィードバック	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	30分
13回 肉丸	外部工場へ発注のための打ち合わせ	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	30分
14回 肉丸	卒業制作(グループ) グループ編成方向性についての話し合い、スケジューリング	習：グループ内での理解を深め、各自コンセプト、イメージソース、ラフ案の準備	30分
15回 肉丸	グループ面談、コンセプト立案（ディスカッション）	予習：グループ内での理解を深め、各自イメージソース、ラフ案の準備	30分

卒業制作（プロダクト）

肉丸 美香子、野口 和美、大場 有希子、高橋 大夢

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 4年 後期 必修（5単位 実験実習）

■授業の方針・概要

グループ制作によりバッグの提案を行なう。グループごとにテーマを設定し、コンセプトに基づきデザインし制作を行なう。ファッションプロダクトデザイン・・・の授業内容を発展させ専門課程各科目を通して学んだ全ての知識、技術、手法を駆使し『作品（プロットタイプ）』の制作に重点をおき、コマーシャルポスター・ポートフォリオ制作を行なう。以上の内容をより効果的なものとするために、担当者として、日常的に、バッグ、帽子的製品開発・制作を行っている実務経験者の指導の基、学修していく。

■到達目標（学修成果）

自らの考えを他者に伝えるコミュニケーション能力と共にプレゼンテーション力、更にコンセプトを現実のデザインの中にも的確に表現できる力を身に付けることが可能である。指導教員やグループ内のディスカッションを重ねる事により、自身の考えを他者にしっかり伝えるコミュニケーション能力が大きく飛躍する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業認定単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

・『鞆・ハンドバッグ・小物』（社団法人日本皮革産業連合会）、BAG DESIGN(FASHIONARY)・工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE)・ファッション工芸講座 帽子基礎編（文化出版局）

■参考文献

授業の中で紹介する

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日11:00～12:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階3409)

■備考

卒業制作の授業は月曜日・火曜日・水曜日・金曜日の週3回行っている。このシラバスは火曜日の内容である。月曜日/帽子の授業8回（担当 大場）、残り7回（担当 高橋）と水曜日/（担当野口）金曜日/（担当肉丸）の授業は、火曜日に準ずる。月曜日、水曜日、金曜日のシラバスは最初の授業時に掲示する。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス 卒業制作(グループ)各グループでスケジューリング	復習：グループのスケジュールに合わせ、各自の作業を確認、スケジューリング	60分
2回 肉丸	第1回プレゼンテーション（グループ制作） 不織布モックアップ制作	復習：モックアップを完成させる	60分
3回 高橋	講評とフィードバック グループ面談	復習：修正・確認を行う	60分
4回 高橋	コンセプト、デザイン案、デザイン修正を行う グループ面談	予復習：サンプル制作のための準備	60分
5回 肉丸	デザイン修正、発注するバッグの決定を行う グループ面談	予復習：サンプル制作（不織布）	60分
6回 肉丸	発注するバッグの製図、不織布モックアップを完成させる	予復習：ファーストサンプル制作（不織布）	60分
7回 肉丸	プレゼンテーション準備 最終チェック（フィードバック）	復習：デザイン修正・確認を行う 予習：プレゼンテーションの準備	60分
8回 肉丸	発注するバッグの製図、 発注する不織布モックアップを完成させる（水曜日発注）	復習：最終デザイン画、製図を描く	60分
9回 高橋	ポートフォリオ制作 ポートフォリオ制作/ポスター案を提出する（写真撮影）	復習：修正案の確認をする	60分
10回 高橋	ポートフォリオ制作 ポスター案を提出する（写真撮影）	予習：ポスター案を考える	60分
11回 高橋	ポスター制作	予習：ポスターの構図を考える(ラフスケッチ)	60分
12回 高橋	イメージ、製図、を完成させる	予習：テーマ、コンセプトを確認してまとめる	60分
13回 高橋	カラーバリエーション、デザインバリエーションを完成させる	復習：データを完成させる	60分
14回 肉丸	ポートフォリオの最終チェックを行う	予習：データの確認 復習：修正し再度チェックを受ける	60分
15回 肉丸	プレゼンテーション 外部評価 課題作品に対する講評	予習：プレゼンテーションの準備	60分

グローバルマネジメント特論

山田 晶子

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本授業では「今、グローバル社会で求められている最も重要な課題は何か」を、社会潮流をベースとしつつ、グローバルマネジメント戦略の在り方を探究していきます。既修の入門編を礎とした応用編として、今日の生活者にみる行動様式や、消費に対する意識変化を読み解き、FB環境において期待される役割、グローバルビジネス展開のための、重要事項を構造的に学びます。担当講師の実務経験や知見を活かした時代性ある事例共有と、実感値の醸成を主眼とした、アクティブラーニングによる授業も実施してまいります。

■到達目標（学修成果）

本授業を履修し、学修の目標を達成できた結果、課題の背景や構造をつかみ、既存の枠組に捉われることなく、グローバル社会における変化に適応しながら、本質的・有機的な方法を導き出す考え方を習得、応用編としてのグローバル市場への参入、組織の有効性ある捉え方、起業家としての着眼点・立案力が修得できます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目であり、ファッションビジネス・マネジメントコースのディプロマポリシーに即した必修専門科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

プレゼンテーション(演習発表)とレポート実施(期中・期末)に関して、第6回、第15回にて、確認講評を行ないます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

指定教科書は無し。毎回、学習資料を配布します。

■参考文献

授業時に、適宜紹介します。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後・開講教室もしくはFBマネジメントコース研究室(第3校舎4階)

■備考

毎回、配布する学習資料を持参してください。

授業の進行状況により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

出席を重視します。毎授業の積み重ねが、学修成果に繋がります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 山田	イントロダクション グローバルマネジメントの実践課題の諸相	予習：シラバスの確認 授業内容：学ぶべき内容とベースの共有	30分
2回 山田	実践への考え方とリソース(1) グローバル市場と構造的戦略<事例研究>EURブランド	内容：周辺ブランドから羨望視されるCHANEL。その強さの要因を考察	30分
3回 山田	実践への考え方とリソース(2) グローバル市場と構造的戦略<事例研究>組織の構造	内容：「CHANEL」を事例として掲出した「マッキンゼーの7つのS」を研究	30分
4回 山田	実践への考え方とリソース(3) グローバル市場と構造的戦略<事例研究>EURブランド	内容：世界最大のコングロマリット「LVMH」の業態内容、強さの背景を探究	30分
5回 山田	実習「レポート作成」演習へのベースを整理確認。テーマに沿って着眼点の整理	予習：演習へのベースとしての内容整理確認	50分
6回 山田	グローバル時代の戦略的経営(1) 第5回のフィードバック、「EUR/SPAブランドの戦略」	内容：SPA企業グローバル首位の位置を継続する「ZARA」の強さの要因を研究	30分
7回 山田	グローバル時代の戦略的経営(2) 「グローバル視点における持続可能な取組事例共有」	内容：生活者ニーズの実現と持続可能なグローバル取組事例を共有	30分
8回 山田	演習(1)/21世紀のファッションビジネス グループワーク(社会潮流共有～実践への考え方とリソース)	予習：ビジネスへの骨格づくり 復習：自グループ内のヴィジョン確認	40分
9回 山田	演習(2)/21世紀のファッションビジネス グループワーク(ファッションビジネス具現化への5W2H)	予習：テーマへの5W2H考案 復習：自グループのテーマ深掘り	40分
10回 山田	演習(3)/21世紀のファッションビジネス グループワーク(バーパスとアントレプレナーシップ醸成)	復習：マクロ視点とミクロ視点によるFB構築	40分
11回 山田	演習(4)/21世紀のファッションビジネス グループワーク(ファッションビジネスとしての本質追求)	予習：リアリティあるファッションビジネスとしてのヴァリュー探求	40分
12回 山田	演習(5)/21世紀のファッションビジネス グループワーク(SDGsと企業のミッション、発表準備)	予習：プレゼンテーション準備	50分
13回 山田	発表(1)/ プレゼンテーション 各班発表(生活者視点で他グループに関するレポート作成)	予習：プレゼンテーション準備 復習：他グループの内容確認	50分
14回 山田	発表(2)/ プレゼンテーション 各班発表(生活者視点で他グループに関するレポート作成)	予習：プレゼンテーション準備 復習：他グループの内容確認	50分
15回 山田	発表(3)/ プレゼンテーション・講評 各班発表(プレゼンテーション内容フィードバック)	復習：講評から、全体観とポイントの整理 期末レポート作成・提出	40分

店舗開発マネジメント論

鈴木 康久、寺井 孝夫

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

本科目は「店舗開発」における新規出店に関連した出店地域の市場調査、立地や物件、店舗設計や開業までの一連の流れを実践的に学習していきます。店舗開発視点で計画と管理、MD・VMD計画策定、店舗設計、事業計画等の模擬演習を行います。また本科目ではグループワーク等アクティブラーニングを主体とした授業運営となります。VMDプラン策定を含むストア計画の部分は連携先企業（VMD業者）が参画し、産学連携型に推進していく授業です。担当教員の長年の実務専門分野（寺井 - VMD計画、店舗創造、改装計画、鈴木 - マーケット・市場調査・ストアプラン構築）を活用した授業内容及び運営となります。

■到達目標（学修成果）

- ・実施計画と事業計画作成、立地決定、ストア計画、社長プレゼンまで店舗開発業務全体が実務レベルで学べます。
- ・アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
- ・グループワークを軸に、価値創造と利益志向力、全員で同じ方向を目指すマネジメント力、プレゼン力の向上を目指す。
- ・成果としてのストアプラン、事前計画書の内容を主要な評価材料とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回グループワークを基本とし連携先企業からのフィードバックを組み入れながら演習テーマへの取組姿勢、各プロセス及び最終プレゼンの内容を基に成績評価を行っていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

指定教科書なし。適宜参考資料を配布します。

■参考文献

必要に応じて随時案内します。

■オフィスアワー・研究室

出校日：水曜日 FB研究室：第3校舎4階(3402教室)にて16:20～17:00まで

■備考

- ・実際のストア計画のデザイン施工業者と小売企業の共業を再現しながら実践的な学習効果を目指しています。
- ・連携先企業の都合によりスケジュールが前後する場合があります。
- ・2回目以降はグループ毎の進捗状況や事業計画内容によりスケジュールが変更される場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 寺/鈴	イントロダクション 授業概要・事業方針（演習に取組む際の前提条件）の発表	予習：シラバスの確認 復習：本日の内容の振り返り	60分
2回 寺井	私たちの事業計画の議論と方向性（コンセプト）の決定 グループワーク：店舗開発コンセプトとロードマップ策定	予習：事業計画、ロードマップ事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
3回 寺井	マーチャンダイジング計画 / 顧客設定 グループワーク：ターゲット顧客設定、サービス方針設定	予習：顧客、サービス設定の事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
4回 寺井	マーチャンダイジング計画 / MD設定-1 グループワーク：取扱MD、価格帯、品揃え方針の設定	予習：MD設定の事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
5回 寺井	マーチャンダイジング計画 / MD設定-2 グループワーク：価格帯、品揃え方針、売上予算の設定	予習：価格帯と売上予算の事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
6回 寺井	立地設定 グループワーク：立地と物件の調査と選定、決定	予習：出店地域、立地の事前現地調査 復習：本日の取組内容の精度アップ	120分
7回 鈴木	ストアプラン作成の模擬演習（個人・グループワーク） コンセプト、ブロックアウトプラン、導線計画	予習：事前課題の個人ワーク 復習：配布資料の振り返り	70分
8回 寺井	ストア計画 グループワーク：MDの分類と配置、什器レイアウト策定	予習：インプット事項の整理とまとめ 復習：本日の取組内容の精度アップ	120分
9回 寺井	ストア計画 グループワーク：デザイン・施工業者へのインプット	予習：インプット事項の整理とまとめ 復習：本日の取組内容の精度アップ	90分
10回 寺井	ストア計画 グループワーク：売場図面作成、展開方針の策定	予習：商品展開イメージの事前構想 復習：図面、棚割の精度アップ	60分
11回 寺井	ストア計画 グループワーク：VMDの立案とVMDツールの選定	予習：VMDイメージ・ツールと演出事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
12回 寺井	ストア計画 グループワーク：内装・外装デザインの立案と予算化	予習：内装・外装イメージの事前構想 復習：内装・外装デザインの精度アップ	60分
13回 寺井	事業計画書作成 グループワーク：実際の事業計画書に落とし込み	予習：事業計画書の予習と事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	90分
14回 寺/鈴	事業計画書作成 グループワーク：事業計画と計画書の辻褄調整・利益確認	予習：マネタイズ可能か否か判定 復習：本日の取組内容の精度アップ	90分
15回 寺/鈴	社長へのプレゼン グループ発表：店舗開発計画のプレゼンと講評	予習：社長プレゼン内容の整理と調整 復習：授業全体の振り返り	120分

ファッションMD評価システム

長瀬 泰典

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース

4年

前期

必修

(2単位 講義)

■授業の方針・概要

本科目では、バリューチェーン全体を通してファッション・MDの業務プロセスを評価する手法を、実務・実践型で取り組む。また、担当教員の実務経験や知見を活かした授業運営を軸としており、ファッション業界において必要不可欠なサプライチェーン全体を俯瞰して捉え、最終消費者へ販売するまでプロセスを具体的に理解し、外部環境の変化と共に変わりゆく業界をPDCAプロセスで自ら新しいアイデアを産み出す必要性が今後重要である事を習得する。なお、本科目ではポータルサイトを使用しICT活用による授業運営を行っている。

■到達目標（学修成果）

ファッション業界をバリューチェーンの視点で捉えMD評価システムの必要性を理解する。その結果、PDCAプロセスを用いて常に変化しながら業務遂行を行う重要性を理解することを到達目標とする。また、激変していくファッション業界の変化をどのように捉え、何が重要であるかを自ら考え行動できる実践力を身につけることを到達目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目で、また卒業要件科目です。最終仕上げ段階であり、卒業時に、他の科目と合わせ、ファッションに関する業務を深く理解することができるようにする。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業終了後に振り返りを学内システム（ポータルサイト）にてUPし、テーマ毎に対してフィードバックします。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて授業内でレジュメを配布。

■参考文献

必要に応じて、その都度授業内で提示します。

■オフィスアワー・研究室

授業時間の前後 30 分間 講師控え室に待機

■備考

なし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 長瀬	イントロダクション/ファッション業界全体の流れをバリューチェーン目線で捉える	復習 ファッション業界のバリューチェーンを整理する	30分
2回 長瀬	データからみた日本のファッション業界構造_1	復習 各データを再検証し業界構造との相関関係を理解する	30分
3回 長瀬	データからみた日本のファッション業界構造_2	復習 各データを再検証し業界構造との相関関係を理解する	30分
4回 長瀬	SPA業界のビジネスモデル	復習 SPAの仕組みを消費者目線で分析する	30分
5回 長瀬	EC業界のビジネスモデル_1	復習 EC業界の仕組みを消費者目線で分析する	30分
6回 長瀬	EC業界のビジネスモデル_2	復習 EC業界の変化を理解する	30分
7回 長瀬	業界を取り巻く企業の構造	復習 ファッション業界に関わる企業の仕組みを理解する	30分
8回 長瀬	MDとは～アパレル関関と職種～	復習 アパレル業界におけるMDの立ち位置を理解する	30分
9回 長瀬	MDとは～総合アパレルメーカー編～	復習 総合アパレルメーカーにおけるMDの役割を理解する	30分
10回 長瀬	MDとは～SPA編～	復習 SPAにおけるMDの役割を理解する	30分
11回 長瀬	MDとは～TVショッピング編～	復習 TVショッピングにおけるMDの役割を理解する	30分
12回 長瀬	MDとは～MDの未来と求められる人物像～	予習 11回までの講義を通して自分なりにMDとは何か？を整理する	45分
13回 長瀬	ファッションDX_1	復習 現在のファッション業界のDXを理解する	30分
14回 長瀬	ファッションDX_2	復習 ファッション業界のDXの進化を考えながらどのように変化するか分析する	30分
15回 長瀬	これからのファッション業界の課題と変化	復習 授業を通して今後の業界の課題と変化を自分なりに考えをまとめる	60分

卒業論文（マネジメント）

鈴木 康久

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 前期 必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

コース専門課程を中心とした4年間の学習の集大成として本科目が位置付けられます。卒業論文では、研究の意義や論文の社会的役割、論文構成等の理解、また企業研究にフォーカスし、情報収集、先行研究調査、資料分析を中心に体系的に論文のフレームワーク全般を学習していきます。前期後半よりテーマの抽出及び検討を繰り返し、最終的に学生各々の卒業論文の研究テーマの主題確定及び研究計画書の策定を目指します。一部外部講師を招聘し卒業論文に対する理解の深化を図っていきます。また授業運営において、主題に対するディベート、グループワークを通じたアクティブラーニングを取入れ理解の深化を目指します。

■到達目標（学修成果）

- 論文構成やその研究展開手法、執筆に向けた各種調査方法や先行研究等の情報収集の手法を習得できます。
- 論文執筆の具体的な取組みを通じて論理的（ロジカルシンキング）な思考力を醸成できます。
- アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
- 企業研究を通じたコミュニケーション能力向上や実践的な企業研究手法の知識習得が図れます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目でファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題に対するグループワークや個人ワーク、又、個人研究に対して個別指導を通じて各フィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

指定教科書なし、必要に応じ学習資料を随時配布していきます。

■参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

■オフィスアワー・研究室

授業前後 1 時間、3402教室

■備考

授業の進行状況や招聘する外部講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 全体スケジュールや要点の確認、ガイダンス	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 鈴木	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート 1 の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
3回 鈴木	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート 2 の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
4回 鈴木	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート 3 の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
5回 鈴木	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート 4 の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
6回 鈴木	研究対象の考察 グループワーク、ディベート	予習：事前課題によるワーク準備 復習：各自の課題整理	60分
7回 鈴木	卒業論文制作の心得についてガイダンス 研究・論文の意義や執筆に向けた心得	予習：次回の課題に対する事前調査 復習：配布資料の振り返り	40分
8回 鈴木	卒業論文の作成指針 ルール確認、ポイント学習	予習：自身の研究対象の調査・分析 復習：配布資料の振り返り	40分
9回 鈴木	図書館の活用について 図書館研修、論文検索、資料検索	予習：自身の研究対象の調査・分析 復習：配布資料の振り返り	40分
10回 鈴木	先行研究・過去の卒論調査	予習：自身の研究対象の調査・分析 復習：各自の研究対象のまとめ	40分
11回 鈴木	卒業論文：論題・副論題の確認と発表	予習： の発表準備 復習：配布資料の振り返り	40分
12回 鈴木	卒業論文：論題・副論題の確認と発表	予習： の発表準備 復習：配布資料の振り返り	40分
13回 鈴木	卒業論文：研究計画策定	予習：研究計画書の準備 復習：各自の課題整理	60分
14回 鈴木	卒業論文：研究計画策定	予習：研究計画書の準備 復習：各自の課題整理	60分
15回 鈴木	卒業論文：研究計画書のプレゼンテーション	予習：プレゼン準備 復習：前期における各自の論点整理	60分

卒業論文（マネジメント）

鈴木 康久、山田 晶子

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 後期 必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

コース専門課程を中心とした4年間の集大成として本科目が位置付けられます。卒業論文では、で確定した卒業論文主題に対する具体的な研究・調査の推進及び制作を遂行していきます。計画に基づいた文献や資料収集、先行研究調査、市場調査、企業研究、個別データ収集を行いながら論文完成を目指します。また企業研究やアンケート調査を通じて自身の論点を明確化させていき、後期後半より査読を通じた論点の確認・整理、平行しながら論文プレゼン発表の資料制作、プレゼン準備を行いながら最終形にまとめ上げ、具体的にプレゼン発表や展示を行い、個々に制作された論文の多面的な確認・評価を行っていきます。

■到達目標（学修成果）

- 論文制作過程全体を通じて、情報収集・調査手法、具体的な論文構成や執筆ポイント等の実践的能力習得を図ります。
- 自主的かつ長期に渡る計画的取組みを通じて、前期に学んだロジカルシンキングの応用力を養えます。
- 発表に向けた内容検証等をグループワークやディベート等アクティブラーニングを通じて制作内容の深化を図り、更に複数回の発表を通じたプレゼン力の醸成を図る事ができます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

企業研究、調査、査読、論文制作、プレゼン資料作成等において個別指導を通じて、各種フィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

指定教科書なし、必要に応じ学習資料を随時配布していきます。

■参考文献

大村邦年著「ファッションビジネスの進化」晃洋書房、また授業に関連した参考文献を随時紹介します。

■オフィスアワー・研究室

授業前後1時間、3402教室

■備考

授業の進行状況により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴/山	オリエンテーション 全体スケジュールや要点の確認	予習：シラバスの確認 復習：前期の研究計画書のチェック	30分
2回 鈴/山	卒業論文 企業研究 調査・研究、個別ミーティング	予習：研究先企業のリストアップ 復習：企業概要の確認	40分
3回 鈴/山	卒業論文 企業研究 調査・研究、個別ミーティング	予習：研究先企業の調査 復習：各自の個別課題の整理	40分
4回 鈴/山	卒業論文 企業研究 調査・研究、個別ミーティング	予習：研究先企業の調査 復習：各自の個別課題の整理	40分
5回 鈴/山	卒業論文 制作ポイント確認 調査・研究、個別ミーティング	予習：制作ポイントの整理と資料確認 復習：各自の個別課題の整理	40分
6回 鈴/山	卒業論文 中間チェック 提出 査読、プレゼン資料制作、個別ミーティング	予習：査読準備 復習：各自の個別課題の整理	40分
7回 鈴/山	卒業論文 中間チェック 提出 査読、プレゼン資料制作、個別ミーティング	予習：査読準備 復習：各自の個別課題の整理	40分
8回 鈴/山	卒業論文 プレゼン資料計画 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別ミーティング	予習：プレゼンコンテンツ整理 復習：各自のプレゼン資料の課題整理	40分
9回 鈴/山	卒業論文 プレゼン資料計画、査読確認 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別・査読戻りミーティング	予習：プレゼン用調査資料の整理 査読戻りの読み込み 復習：各自の査読課題整理	60分
10回 鈴/山	卒業論文 プレゼン資料計画、査読確認 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別・査読戻りミーティング	予習：プレゼンの全体概要の整理 査読戻りの読み込み 復習：各自の査読課題整理	60分
11回 鈴/山	卒業論文 プレゼン計画 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別ミーティング	予習：プレゼンの全体概要の整理 復習：各自のプレゼン資料の課題整理	60分
12回 鈴/山	卒業論文 プレゼン計画 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別ミーティング	予習：プレゼンの全体概要の整理 復習：各自の総合的な課題整理	60分
13回 鈴/山	卒業論文：コース内プレゼン・ポイント確認	予習：プレゼン準備・対象論文要旨確認 復習：各自の総合的な課題整理	60分
14回 鈴/山	卒業論文：コース内プレゼン・ポイント確認	予習：プレゼン準備・対象論文要旨確認 復習：各自の総合的な課題整理	60分
15回 鈴/山	卒業論文：学習のまとめ、全体振り返り、記録	予習：制作物意見交換準備 復習：論文の総合確認・整理	30分

顧客関係論

三宅 洋基

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

社会の成熟化、テクノロジーの進化、価値観の変化に伴い、ファッション・アパレルの世界における「顧客との関係性」も大きな変化のうねりの中にある。ファッション・アパレルの世界を「憧れる対象」から「自身がイノベーションに関与する対象」として捉えるべく「三人称（他者）視点」と「批判的視点」の重要性を、講義と演習を通じて学んでいく

■到達目標（学修成果）

1. 企業と顧客との関係性構築（CRM）の基本的な考え方を理解している
2. 企業と顧客の関係性を構築するためのアプローチ・手法について理解をしている
3. 企業と顧客との関係のビジネス観点での大きなトレンド・トピックを理解しており、自分で柔軟な発想をもってアイデアを考えられる

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目・学位授与科目です。 流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回レポートは次回の授業時に返却、講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

特になし

■参考文献

特になし

■オフィスアワー・研究室

特になし

■備考

特になし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 三宅	「オリエンテーション・講義計画・小ディスカッション」	左記テーマにつきアイデアを考えてくる。当日紹介頂く	30分
2回 三宅	「あなたの好きなファッションブランドとその理由」	復習 レポート提出	30分
3回 三宅	「ファッション業界の今・未来を見据える」	復習 レポート提出	30分
4回 三宅	「顧客は誰？・何を考えている？（１）」	復習 レポート提出	30分
5回 三宅	「顧客は誰？・何を考えている？（２）」	復習 レポート提出	30分
6回 三宅	「目指すべき顧客との関係性とは？」	復習 レポート提出	30分
7回 三宅	「どのようにその関係を築くか？（１）提供価値」	復習 レポート提出	30分
8回 三宅	「どのようにその関係を築くか？（２）アプローチ・チャネル」	復習 レポート提出	30分
9回 三宅	「どのように顧客との関係を維持・良好化するか？」	復習 レポート提出	30分
10回 三宅	「他の業界から学ぶ」	復習 レポート提出	30分
11回 三宅	「ケース議論」 ブランドのことを「好き」になる瞬間	左記テーマにつきアイデアを考えてくる。当日プレゼンを行う	30分
12回 三宅	「ケース議論」 ブランドのことを「嫌い」になる瞬間	左記テーマにつきアイデアを考えてくる。当日プレゼンを行う	30分
13回 三宅	「プレゼンテーション準備（１）」	事前にテーマ設定	60分
14回 三宅	「プレゼンテーション準備（２）」	事前に調査・分析を実施	60分
15回 三宅	「プレゼンテーション（１）」	プレゼンテーション実施準備	60分
16回 三宅	「プレゼンテーション（２）」	プレゼンテーション実施準備	60分

ファッションテック論

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッション・テクノロジー（ファッションテック）の活用によるファッション業界の活性化が注目されています。日本においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）やデータ分析の必要性が問われている中、テクノロジーの進化の中でも、画像生成AI、3DCG、メタバースの知識を深めます。授業は、ファッションテック関係の実務家による講義と、後半にはファッションに特化した生成AI「Maison AI」のサービスでブランドを制作します。個人でのAIのブランド提案のプレゼンテーションを実施します。

■到達目標（学修成果）

ファッションビジネスの変革期における、新しいテクノロジーの知識を得ること、画像生成AIの技術を習得することを目標とします。そこから、卒業論文のテーマ策定を目指します。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマシーに即した必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業後にファッション業界の未来を考える課題を提出して、教員からのフィードバックや助言などをする。後半は生成AIを活用した、各学生が考えるブランドのプレゼンテーションを行い評価をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要時に資料を配布します。

■参考文献

特になし

■オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・流通イノベーション実習室（3207教室）オフィスアワーについては授業初日に伝えます。

■備考

特になし

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	ニューノーマル時代のファッションビジネスの構造転換 - ファッションテックの基本的な理解 -	予習：シラバスを読む	30分
2回 五月女	ファッションビジネスのDX（デジタルトランスフォーメーション）総論	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
3回 五月女	ファッションデジタル商品企画の未来 3DモデリングとCGの世界	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
4回 五月女	バーチャルフィッティングの事例 ECを補完するテクノロジー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
5回 五月女	VR・メタバースなど仮想空間のファッションの未来 大丸松坂屋のVRCHATのアバター販売の事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
6回 五月女	ファッション業界におけるAIモデルの影響	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
7回 五月女	インタラクティブ動画技術 Tig の導入事例 ファッションECとの取り組み	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
8回 五月女	AIを活用したECでのスタイリングサービス DROBEの事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
9回 五月女	生成AIを活用したアパレルスタッフのデジタル販売 AIQによるデジタルメイドの事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
10回 五月女	画像生成AI スクロールインターナショナル アパレル用 Lightchain の事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
11回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する ターゲット顧客の分析とペルソナ設定	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
12回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する ブランド名、ロゴ、世界観の検討	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
13回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する 画像AI生成を活用したデザインイメージの創出	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
14回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する ブランドコンセプトブック作成	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	90分
15回 五月女	発表とまとめ	まとめの発表をすることで、授業全体を振り返る	30分

卒業論文（イノベーション）

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 前期 必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

ファッション業界のデジタル知識を基に、4つのグループ「Eコマース」「リテールDX」「デジタル・マーケティング」「ファッションテック」「ファッションとデジタル社会」という「大分類」から、学生の関心に基づいて「中分類」に落としこみキーワードを抽出します。参考文献や最新の記事等を見つけ、「小分類」から各自の卒業論文に向けてテーマを定めます。そこから、仮説と研究計画書を立案しプレゼンテーションを行います。後期の論文完成に向けて論文全体の構成決定、学生個別の企業インタビューやアンケート調査の交渉を実施しながら、一次情報を重視した卒業論文の執筆を学修します。

■到達目標（学修成果）

漠然としていたファッションビジネスへの興味・関心を、ディスカッションを通して学ぶアクティブラーニングです。自分の研究テーマに絞り込んでいき、卒業論文の作成にあたって必要とされる基本知識を身につけます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマシーに即した必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各自のテーマ決定までの課題提出・発表でコメントやアドバイスを提言し、卒業論文執筆までのサポートをしていきます。レポート、論文に関する提出物はすべてポートフォリオに提出をし、教員からのフィードバックをしていきます。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

特になし。

■参考文献

教員作成の「論文の手引き」「卒業生の要旨」を全員に渡して参考にします。テーマに合わせて紹介していきます。

■オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 第3校舎 3207教室
オフィスアワー日時については授業初日に伝えます。

■備考

図書館を積極的に使用し、活用していきます。最新のネット記事などはデータ共有していきます。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	卒業論文を書くにあたって 年間スケジュールの確認 授業の進め方と最終発表の方法、論文規定の確認	予習：シラバスを読む 復習：論文の手引きを読む	30分
2回 五月女	流通イノベーションコースの論文の考え方 大分類の中で具体的事例を紹介、各自のテーマ設定の基本	復習：各自の課題を整理してまとめる	30分
3回 五月女	過去の卒業論文や要旨の紹介、論文の構成の理解 興味関心をもつテーマ設定を授業内で探す	復習：各自の課題でネット検索などの準備をする	60分
4回 五月女	先行研究の調査、図書館への訪問、参考文献を見つける、 記事や画像検索のまとめ	予習：ネット検索などの課題提出	60分
5回 五月女	「小分類」から各自のテーマ設定を決定する。	予習：ネット検索などの準備をする	30分
6回 五月女	Wordの活用使用方法 レイアウト、脚注、図表番号、校閲、ヘッダー等について	復習：PCの課題提出	60分
7回 五月女	調査方法 アンケート調査とインタビューの方法について（1次情報）	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
8回 五月女	仮説の決定と提出	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
9回 五月女	研究計画(スケジュール)の決定と提出 及びインタビュー企業の調整、アンケート調査の相談	復習：各自の課題を整理してまとめる	30分
10回 五月女	卒業論文の仮説と研究計画の発表 個人プレゼンテーション	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
11回 五月女	執筆開始 「はじめに」執筆動機を明確にする	復習：各自の課題を整理してまとめる	90分
12回 五月女	執筆開始 「序章」先行研究を文章にする	予習：各自の課題を整理して発表準備をする	90分
13回 五月女	執筆開始 「序章」から「1章」までを執筆する	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
14回 五月女	まとめ 進捗状況の報告と今後の計画（プレゼンテーション）	復習：各自の執筆状況をまとめる	90分
15回 五月女	まとめ 進捗状況の報告と後期執筆にあたり夏休みの課題	復習：各自の執筆状況から課題を提出 （夏休みの課題）	90分

卒業論文（イノベーション）

五月女 由紀子、菊原 政信

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 後期 必修（2単位 演習）

■授業の方針・概要

前期の卒業論文で設定した各自の研究テーマ・仮説に基づき、検証方法を確定して論文執筆を進めます。デジタルマーケティング専門の実務家教員との連携により、各自のテーマに沿った関連業界の現場担当者へのインタビューとアンケート調査（一次情報）や、論文に関する記事や文献など（二次情報）に関してアドバイスしていきます。論文データを完成後、教員による査読と最終の論文提出をします。その後、卒業論文発表の要旨作成とプレゼンテーションを行い、ファッションビジネス・流通イノベーションコースに関する学びの集大成とします。

■到達目標（学修成果）

卒業論文の作成計画に基づき、最終原稿を完成させることにより、論文作成技術を身に付けます。ファッションビジネスにおけるデジタル専門性を追究することで、社会で役立つ知識を身に付けます。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマシーに即した必修科目です。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

卒業論文の執筆にあたり、テーマに関する情報共有をしながら、個々に指導していきます。論文に関する課題は全て、ポートフォリオに提出をします。教員はそこからフィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

特になし

■参考文献

教員作成の「論文の手引き」を配布して執筆の参考にします。

■オフィスアワー・研究室

ファッションビジネス・流通イノベーション実習室 第3校舎 3207教室
オフィスアワー日時については授業初日に伝えます。

■備考

図書館を積極的に使用し、活用していきます。
最新のネット記事などは教員と学生とデータ共有していきます。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菊原	前期「卒業論文」終了後の論文執筆の状況確認 論文完成と要旨作成、卒業論文発表までの日程確認	予習：夏休みの執筆状況のまとめ	90分
2回 菊原	論文の構成の再確認と章立ての完成	復習：各自の論文執筆	60分
3回 五月女	アンケート調査・インタビュー調査実施、まとめ	復習：各自の論文執筆	60分
4回 菊原	論文の考察と結論の完成	復習：各自の論文執筆	60分
5回 五月女	論文の考察と結論の完成	復習：各自の論文執筆	60分
6回 五月女	論文の脚注や図表番号など完成 参考文献のまとめ	復習：各自の論文執筆	60分
7回 五月女	卒業論文 第1稿の完成と提出	予習：各自の論文執筆	90分
8回 五月女	論文要旨の作成と提出（1200文字）	予習：各自の論文要旨の準備	60分
9回 菊原	卒業論文 教員による査読アドバイスに従って修正	復習：各自の論文執筆	60分
10回 五月女	卒業論文 教員による査読アドバイスに従って修正	復習：各自の論文執筆	60分
11回 菊原	卒業論文完成、印刷と製本作業 要旨の修正	復習：各自の要旨執筆	60分
12回 五月女	要旨集 表紙デザイン・印刷完成	予習：各自の発表準備	60分
13回 五月女	発表用スライド（パワポ）作成・完成	予習：各自の発表準備	90分
14回 菊原	卒業制作・論文発表会のリハーサル	予習：各自の発表準備	60分
15回 五月女	卒業制作・論文発表会のリハーサル まとめ	予習：各自の発表準備	60分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 モード・インダ

3・4年 前期

選択 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッション業界でCGを利用した3Dモデリングの活用が増えている。クロスシミュレーションソフト（CLO）を使ったファッション3Dモデリングの基礎的な知識や技術を学修します。ファッション3Dモデリストという新しいクリエイターの育成に向け、デジタルでのファッション造形・表現が可能になるように指導していきます。

■到達目標（学修成果）

CLOの基本操作を身に付け、軽衣料（シャツ、スカート）のモデリングができるようになります。フィジカル（現実世界）との違いを理解し、デジタルでのファッション表現の可能性を広げることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

配布プリント

■参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級（CLO編）織研新聞社

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室（第3校舎2F）

■備考

3DCGソフトは授業の教室内でしか使えない為、欠席しないようにしてください。
日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作 画面操作、パターン配置練習 ネットの著作権等について	予習：シラバスを読む 復習：授業で学んだネット情報を確認	30分
2回 羽・高	モデリング基本操作 縫い合わせ設定練習	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	モデリング基本操作 着せ付け、生地操作	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ギャザースカート	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
7回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
8回 羽・高	モデリング ブリーツスカート（折り曲げ表現）	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	ディティール（ファスナー、ステッチ）	予習：副資材について調べる	30分
10回 羽・高	パターン編集（デザイン変更・パターン展開）	予習：パターン展開について調べる	30分
11回 羽・高	コーディネート（レイヤー設定、配色）	予習：着用時の服の重なりについて調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
13回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
14回 羽・高	課題製作 レンダリング、提出	予習：ポージングやレイアウトについて調べる	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションを行い、アクティブラーニングでお互いに意見交換を行う。講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 モード・インダ

3・4年 後期

選択 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

ファッション3Dモデリング で学んだ基礎から発展させ、服の構造やリアルな表現ができるモデリングの知識と技術を学修します。ポーズ、ライティング、構図を決めて静止画でのレンダリングまでを行い、デジタルでのファッション表現力を高めます。クロスシミュレーションソフトCLOを使用します。

■到達目標（学修成果）

CLOの応用操作を身に着け、パンツ、重衣料（ジャケット、コート）のモデリングができるようになります。フィジカル（現実世界）との違いを理解し、デジタルでのファッション表現を広げ、提案できるようになることを目標とします。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

配布プリント

■参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級（CLO編）織研新聞社

■オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室（第3校舎2F）

■備考

前期ファッション3Dモデリング の単位取得者のみ履修できます。
3DCGソフトは授業の教室でしか使えない為、欠席しないようにしてください。
日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作の復習 モデリング パンツ	予習：シラバスを読む	30分
2回 羽・高	モデリング パンツ	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	コーディネート	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ジャケット	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング ジャケット	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング ダウンコート	予習：ダウンコートについて調べる	30分
7回 羽・高	モデリング ダウンコート	予習：ダウンコートについて調べる	30分
8回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
10回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
11回 羽・高	課題製作 テクスチャ設定、配色	予習：素材について調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 アバター編集、ポージング	予習：ポージングについて調べる	30分
13回 羽・高	課題製作 構図決め、ライティング	予習：写真撮影の構図について調べる	30分
14回 羽・高	課題製作 レンダリング、提出	復習：プレゼンテーション前までに完成させ、提出する。	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションにより、学習成果を提示しアクティブラーニングによる意見による改善を目指す。教員講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

言語と服飾文化

北澤 茉奈、安部 智子

服飾学科 4年 前期又は後期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

服飾文化に関する題材を英語で読むことにより、その知識を深めるとともに、英文で書かれた内容を素早く正確に理解するための練習をします。1940～1950年代のパリ・オートクチュール（Christian DiorとCristobal Balenciaga）についてのアカデミックな英語（解説文）を扱い、語学としての英語と服飾文化の両方にフォーカスします。学生それぞれの英文解釈に対するフィードバックおよび解説、服飾に関する講義の形式で進めます。英文解釈は授業内に提出し、プロジェクターに投影する形で皆に共有します。授業毎に復習テストを実施し、前回内容と関連させながら新たな範囲を読み解いていきます。

■到達目標（学修成果）

1．英語で書かれた文章の構造を理解し、求められた情報を素早く見つけ正確に理解することができるようになる、2．辞書や検索の結果から得た情報を自分の言葉でまとめ発信することができるようになる、3．パリ・オートクチュールについての知識を増やす、の3点です。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

教養科目（国際関係）・選択科目です。教養選択科目（一般・体育・国際関係）16単位は卒業要件です。教養科目としての言語と服飾文化は、国際社会人としての資質、能力、判断力を培い、教養ある豊かな人間性を涵養することをめざしています。さらに、語学と専門の内容とを関連させ、服飾業界で活躍できる専門力向上の一助となることを目指しています。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

復習テスト、英文解釈は授業内で採点・解説を行います。まとめのテストは採点し返却を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

Claire Wilcox編 The Golden Age of Couture: Paris and London 1947-57 (V&A Publications)より
第6章 Dior and Balenciaga: A Different Approach to the Body (pp. 138-154)

■参考文献

必要があれば指示します。

■オフィスアワー・研究室

連絡研究室：英語研究室（研究棟3階6034）・服飾造形研究室（研究棟3階6033）

オフィスアワー：第1回目の授業で提示します。

■備考

テキストは、大型本のためコピーを用意します。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 各自	イントロダクション 課題の詳細説明	予習：シラバスを読む。復習：授業のタスクについて流れを整理する。	30分
2回 各自	ディオールとバレンシアガについて	予習：テキストに目を通す。復習：復習テストに備える。	45分
3回 各自	ディオールの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
4回 各自	バレンシアガの生い立ちとデザイナーとしての初期	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
5回 各自	ディオールの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
6回 各自	バレンシアガの性格・信念・デザインへのアプローチ	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
7回 各自	ディオールとバレンシアガのデザイン・スピリット	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
8回 各自	ディオールとバレンシアガの制作プロセス	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
9回 各自	バレンシアガのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
10回 各自	ディオールのカッティングと構造	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
11回 各自	バレンシアガのフォルム	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
12回 各自	ディオールとバレンシアガの代表的ライン	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
13回 各自	ディオールとバレンシアガのディテール	予習：事前に提示された問題について解答を準備する。復習：復習テストの準備。	45分
14回 各自	まとめ	予習：これまでの授業内容を振り返る。	60分
15回 各自	講評	復習：これまでの授業内容を振り返る。	45分

教育実習（事前事後指導を含む）

白井 勝美

服飾学科 4年 通年(前期) 選択 (5単位 演習/実験実習)

■授業の方針・概要

1年生後期から教職課程の履修開始となります。本授業では、「教育」を「学ぶ立場」から、初めて「教える立場」に転換して学ぶ皆さんに、教育制度の仕組みと構造を総括的に講義します。また、教員養成に制度化されている介護等体験準備（評価含む）も本授業内で実施します。

■到達目標（学修成果）

教育制度の関連法規である「日本国憲法23条・26条を代表とする教育関連条文」、「学校教育法1条校を代表とする学校教育法内の教育関連条文」、「教育基本法の55のキーワード」、「その他制度に関する重要事項」を習得できる。日本の教育制度の基本構造を知る。授業を通して、日本の「学校教育」の現状について知る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目ですが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

試験内容についてポイントを解説する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

前期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課 後期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課

■備考

成績表について 定期試験 小レポート（教職ポートフォリオカルテを含む） 授業姿勢（欠席・遅刻も含む）・日常課題を重要視する。その他追加については授業時に指示する。履修便覧の「教職課程について」を必ず読んでおいてください。1年生後期の教職課程3科目の単位修得が2年生以降の教職課程継続条件となります。出席を重視します。誠実に学修してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井	オリエンテーション 授業計画 本学教職課程の概要 小レポートの作成 ディスカッション	学校教育経験を振り返りレポートを提出する。	60分
2回 白井	学校教育を考える ・前回小レポートの内容紹介を通して 、「学校教育」を考える。 教職課程履修申告の締切り	復習 授業資料を振り返り、学校教育の経験値の 違いを知る。	30分
3回 白井	学校教育を考える ・教育制度の概要と制度に関わる法規（ 憲法・基本法他含む）近年の教育政策の動向を知る。	復習 授業資料を振り返り、「教育」のイメ ージ図を整理する。	30分
4回 白井	4年生「教育実習報告会」聴講	復習 「報告会資料」を読み返す。	30分
5回 白井	我が国の学校制度の特徴を知る。Active Learningディスカッ ション	復習 各種学校数の確認 日本国憲法23条と26 条の内容を理解し暗記する。	30分
6回 白井	公教育制度を構成する教育関係法規を知る。Active Learning ディスカッション	復習 学校教育法1条校を理解する。日本国憲法 23条と26条を暗記する。	30分
7回 白井	1条校、各種学校、専修学校、大学校等を通して教育行政の仕 組みを知る。	復習 日本における学校制度の内容を確認する 。資料内のタームを暗記する。	30分
8回 白井	公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解す る。Active Learningディスカッション	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
9回 白井	教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの 重要性を理解する	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
10回 白井	学校経営の仕組みを理解する。 学校内外の関係者・関係機 関との連携・協働を理解する。	復習 これまでの復習と教育基本法10条までの 重要ワードを暗記する。	60分
11回 白井	地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解 する。	復習 これまでの復習と教育基本法全文中の重 要ワードを暗記する。	60分
12回 白井	地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた 経緯を理解する。	復習 授業資料を振り返り、「生きる力」の内 容を再度理解する。	30分
13回 白井	事故及び災害の実情を踏まえて、危機管理や事故対応など学校 安全の必要性を理解する。	復習 授業資料を振り返り、内容を再度確認す る。	30分
14回 白井	介護等体験オリエンテーション 我が国の学校における安全管 理・安全教育の両面から具体的な取組を理解する。	復習 授業資料を振り返り、介護等体験の意義 と今後の体験方法を理解する。	30分
15回 白井	前期授業のまとめ	復習 試験に備えて復習する。	60分

教職実践演習（中等）

白井 勝美

服飾学科 4年 後期 選択（2単位 演習）

■授業の方針・概要

1年生後期から教職課程の履修開始となります。本授業では、「教育」を「学ぶ立場」から、初めて「教える立場」に転換して学ぶ皆さんに、教育制度の仕組みと構造を総括的に講義します。また、教員養成に制度化されている介護等体験準備（評価含む）も本授業内で実施します。

■到達目標（学修成果）

教育制度の関連法規である「日本国憲法23条・26条を代表とする教育関連条文」、「学校教育法1条校を代表とする学校教育法内の教育関連条文」、「教育基本法の55のキーワード」、「その他制度に関する重要事項」を習得できる。日本の教育制度の基本構造を知る。授業を通して、日本の「学校教育」の現状について知る。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目ですが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

試験内容についてポイントを解説する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

授業資料プリントを作成する。

■参考文献

授業時に適宜指示する。

■オフィスアワー・研究室

前期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課 後期 水曜日（11時00分～14時00分）教務課

■備考

成績表について 定期試験 小レポート（教職ポートフォリオカルテを含む） 授業姿勢（欠席・遅刻も含む）・日常課題を重要視する。その他追加については授業時に指示する。履修便覧の「教職課程について」を必ず読んでおいてください。1年生後期の教職課程3科目の単位修得が2年生以降の教職課程継続条件となります。出席を重視します。誠実に学修してください。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井	オリエンテーション 授業計画 本学教職課程の概要 小レポートの作成 ディスカッション	学校教育経験を振り返りレポートを提出する。	60分
2回 白井	学校教育を考える ・前回小レポートの内容紹介を通して 、「学校教育」を考える。 教職課程履修申告の締切り	復習 授業資料を振り返り、学校教育の経験値の 違いを知る。	30分
3回 白井	学校教育を考える ・教育制度の概要と制度に関わる法規（ 憲法・基本法他含む）近年の教育政策の動向を知る。	復習 授業資料を振り返り、「教育」のイメ ージ図を整理する。	30分
4回 白井	4年生「教育実習報告会」聴講	復習 「報告会資料」を読み返す。	30分
5回 白井	我が国の学校制度の特徴を知る。Active Learningディスカッ ション	復習 各種学校数の確認 日本国憲法23条と26 条の内容を理解し暗記する。	30分
6回 白井	公教育制度を構成する教育関係法規を知る。Active Learning ディスカッション	復習 学校教育法1条校を理解する。日本国憲法 23条と26条を暗記する。	30分
7回 白井	1条校、各種学校、専修学校、大学校等を通して教育行政の仕 組みを知る。	復習 日本における学校制度の内容を確認する 。資料内のタームを暗記する。	30分
8回 白井	公教育の目的を実現するための学校経営の望むべき姿を理解す る。Active Learningディスカッション	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
9回 白井	教育活動の年間の流れと学校評価の基礎理論を含めたPDCAの 重要性を理解する	復習 これまでの復習と教育基本法3条までの重 要ワードを暗記する。	30分
10回 白井	学校経営の仕組みを理解する。 学校内外の関係者・関係機 関との連携・協働を理解する。	復習 これまでの復習と教育基本法10条までの 重要ワードを暗記する。	60分
11回 白井	地域との連携・協働による学校教育活動の意義及び方法を理解 する。	復習 これまでの復習と教育基本法全文中の重 要ワードを暗記する。	60分
12回 白井	地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた 経緯を理解する。	復習 授業資料を振り返り、「生きる力」の内 容を再度理解する。	30分
13回 白井	事故及び災害の実情を踏まえて、危機管理や事故対応など学校 安全の必要性を理解する。	復習 授業資料を振り返り、内容を再度確認す る。	30分
14回 白井	介護等体験オリエンテーション 我が国の学校における安全管 理・安全教育の両面から具体的な取組を理解する。	復習 授業資料を振り返り、介護等体験の意義 と今後の体験方法を理解する。	30分
15回 白井	前期授業のまとめ	復習 試験に備えて復習する。	60分

博物館実習

落合 広倫

服飾学科 4年 通年(前期) 選択 (3単位 実験実習)

■授業の方針・概要

学芸員資格課程で学んだ知識をもとに、実際の博物館実務で必要な技術習得を目的とする。また、学外調査および実習旅行を行い、博物館を取り巻く現状と課題を把握するとともに、学芸員を目指す上での資質向上を目指す。

■到達目標（学修成果）

博物館実務に関する知識・技術の習得

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員資格取得（大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法）のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき博物館に関する科目の単位の一つ。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

製作物・技術習得についての講評

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

指定なし。内容に即した資料を配布します。

■参考文献

随時紹介します。

■オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。
連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課（本校舎1階） 出講日：土曜日

■備考

授業計画は進行状況によって前後することがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 落合	オリエンテーション（博物館実習の概要説明・授業計画）	予習：シラバス確認	30分
2回 落合	グループワーク（博物館の展覧会を企画する）	予習：プレゼンテーション準備	30分
3回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
4回 落合	拓本用墨作成	予習：調査 準備	30分
5回 落合	グループワーク（ミュージアムグッズを考える）	予習：プレゼンテーション準備	30分
6回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
7回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
8回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
9回 落合	2次資料作成（拓本をとる）	復習：実習内容 振り返り	30分
10回 落合	2次資料作成（拓本をとる）	復習：実習内容 振り返り	30分
11回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
12回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
13回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
14回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
15回 落合	実習旅行準備、前期まとめ	予習：調査準備	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾学科 4年 通年(後期) 選択 (3単位 実験実習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	
16回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
17回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
18回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
19回 落合	実習旅行報告会	復習：報告会 振り返り	30分
20回 落合	2次資料作成（裏打ち）	復習：実習内容 振り返り	30分
21回 落合	2次資料作成（裏打ち）	復習：実習内容 振り返り	30分
22回 落合	2次資料作成（額装仕立て）	復習：実習内容 振り返り	30分
23回 落合	グループワーク（博物館ワークショップを考える）	予習：調査 準備	30分
24回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
25回 落合	資料取扱（紙資料）	復習：実習内容 振り返り	30分
26回 落合	資料取扱（金工品）	復習：実習内容 振り返り	30分
27回 落合	資料の梱包方法	復習：実習内容 振り返り	30分
28回 落合	資料の保存方法（脱酸素処理）	復習：実習内容 振り返り	30分
29回 落合	資料の修復方法	復習：実習内容 振り返り	30分
30回 落合	まとめ・実習室清掃	復習：振り返り（まとめ）	30分